

児童が災害時を想定しビニール袋で作った防災カレー  
—やきな粉餅 —南さつま市の小湊小

ビニール袋で作って食べる  
防災カレー



南さつま市の小湊小学校は、地震や津波、台風といった災害への備えに力を入れている。3、4年生は災害時の炊き出しを想定した防災カレー作りを初めて挑戦。自分たちで栽培し備蓄していた米をビニール袋で炊くなど工夫した。また土曜授業の日には集団下校し防災意識を高めている。

### 南さつま・小湊小で食育

# 防災カレー作り備え

## 自作の備蓄米、ビニール袋で炊飯

同校は海に近い港町であり、海拔約3.5m。地震や津波の被害は近年ないが、昨夏は台風で停電が長く続き、1月には同市で震度4が記録されるなど危機意識が高まっている。防災カレー作りは1月30日にあり、市農村振興課の藤田孝子さん、飯島ちはるさん、JANA南さつまの西尾あかねさんが食育を兼ね指導した。

児童5人は、湯飲み1杯の米を一人ずつ耐熱ビニール袋に入れ、市の備蓄水を投入。災害時は水が貴重なため米は研がなかった。ジャガイモやニンジンが皮がついたままカット、砕いたルウや缶詰のツナとともに袋に入れた。米、カレーそれぞれ鍋で20分湯せん。

【問1】 南さつま市の小湊小学校の3、4年生は、どんなことを想定して防災カレー作りに挑戦しましたか。

( **災害時の炊き出し** )を想定した防災カレー作りに初めて挑戦。

【問2】 南さつま市の小湊小学校では、土曜授業の日に、どのようなことをして防災意識を高めていますか。

土曜授業の日には( **集団下校** )し防災意識を高めている。

【問3】 南さつま市の小湊小学校の防災カレー作りの様子を書きましょう。

・( **湯飲み1杯** )の米を一人ずつ耐熱( **ビニール袋** )に入れ、市の( **備蓄水** )を投入。

・災害時は( **水** )が貴重なため( **米** )は研がなかった。

・ジャガイモやニンジンは( **皮** )がついたままカット、砕いたルウや缶詰のツナとともに袋に入れた。米、カレーそれぞれ鍋で20分湯せん。

・( **洗い物を出さないよう** )袋のご飯にカレーをかけて食べた。

【書きましょう】 この記事を読んだ感想を書きましょう。

2025年2月12日付15面

むずかしい漢字とことば

小湊(こ・みなと) 地震(じ・しん) 津波(つ・なみ) 災害(さい・がい) 備(そな)え 炊(た)き出(だ)し=災害にあった人々に、大量に調理して配ること

防災(ぼう・さい) 挑戦(ちょう・せん) 栽培(さい・ばい) 備蓄(び・ちく)=必要な物をたくわえ、保管しておくこと 袋(ふくろ) 授業(じゅ・ぎょう) 集団(しゅう・だん)

意識(い・しき) 海拔(かい・ぱつ)=海面からの陸地や山の高さ。標高(ひょう・こう) 被害(ひ・がい) 停電(てい・でん) 危機(き・き)

振興(しん・こう)=ものごとをさかんにすること 兼(か)ね 指導(し・どう) 杯(はい、ここでは「ばい」) 耐熱(たい・ねつ) 貴重(き・ちょう) 研(と)がなかった

砕(くだ)いた 缶詰(かん・づめ) 鍋(なべ) 洗(あら)い物(もの)

©南日本新聞社 教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します



南日本新聞社